不知火物語第三十七編上

種員作
種彦校

へ13
3223
34

羅宋志怒物語

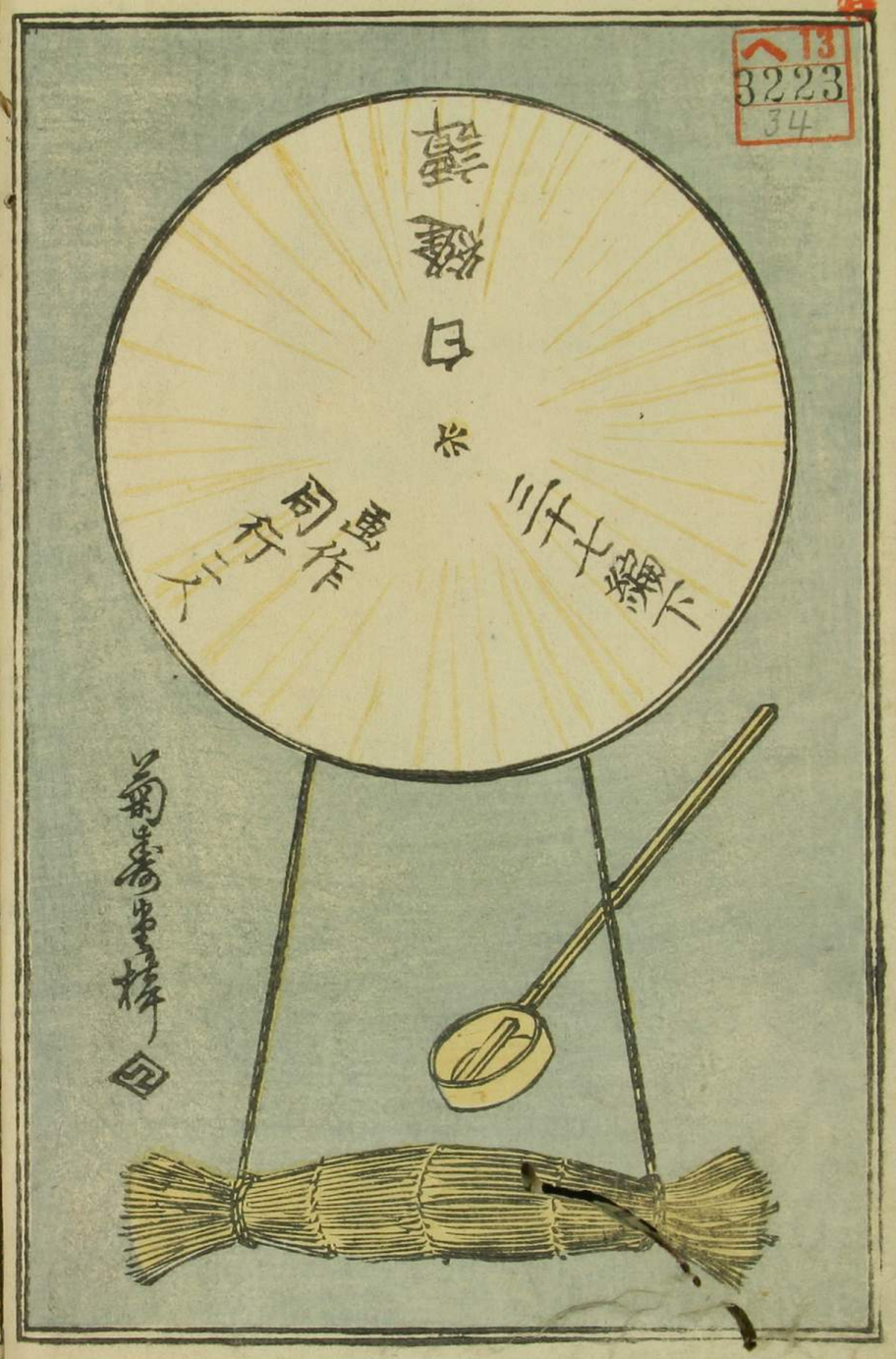
三十七編上

種員誂

三十七編下

梓元堂圖寫

へ13
3223
34



肥前風土記を閲するに昔佐嘉郡に大なる樟樹有朝日の影に対し夕日の影に向ふ杵島郡の浦川山を蔽ひ暮日の影に養父郡の草横山を蔽ふとこれ日本武尊の幸の時茂く栄るさまをうたひしことをば栄の国といふとのつまひ〳〵より郡名とす文字は後に改むると有其樟は今に至て夫を土臺に化石の洞根も葉もあきる迄造るゞ戯作者樹の媼ゞ孕婦に逼る梢に曝時の蕪菁ゞ鐸振る巫女の光儀を且此編の口画に出せる産もぬ前の襁褓評さるゝ不讀でも大方分解る安達ゞ原の一ツ家の石の枕も化石もいづれに幸ゞひ石に縁ある碁盤の胞衣桶底を拂つて案ずるに磬まで横槌も姙むとの当年の閏ある歳ありたるぎれるどへいとれと然もお釈迦の誕生日産湯の甘茶に華を潤し腹帯メく稿を起す

文久三癸亥同二年四月稿成

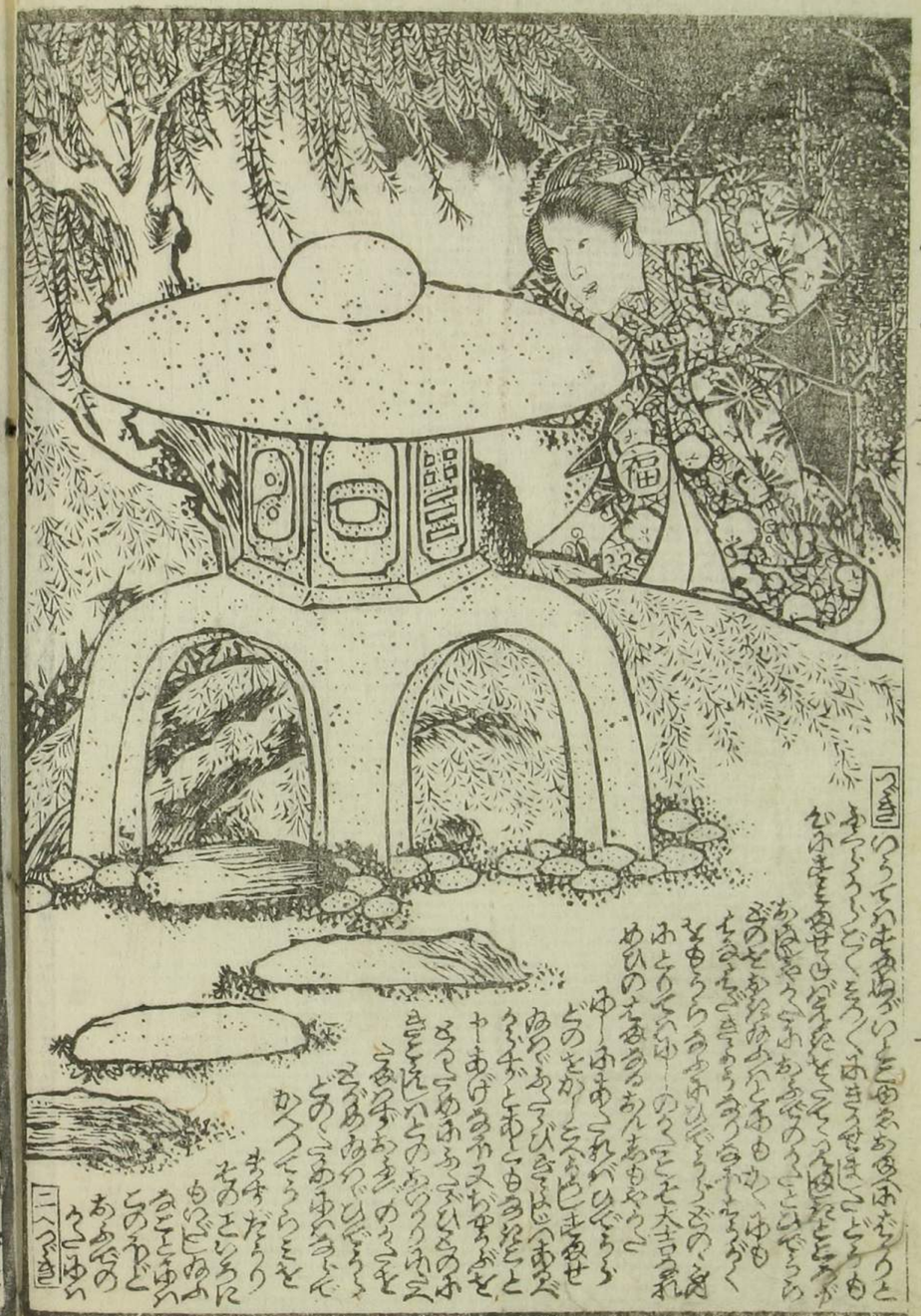
物のかこのき

柳亭種彦

差樹姥
遊女揚羽

安達御寸
若菜姫
假ふ神巫早咲

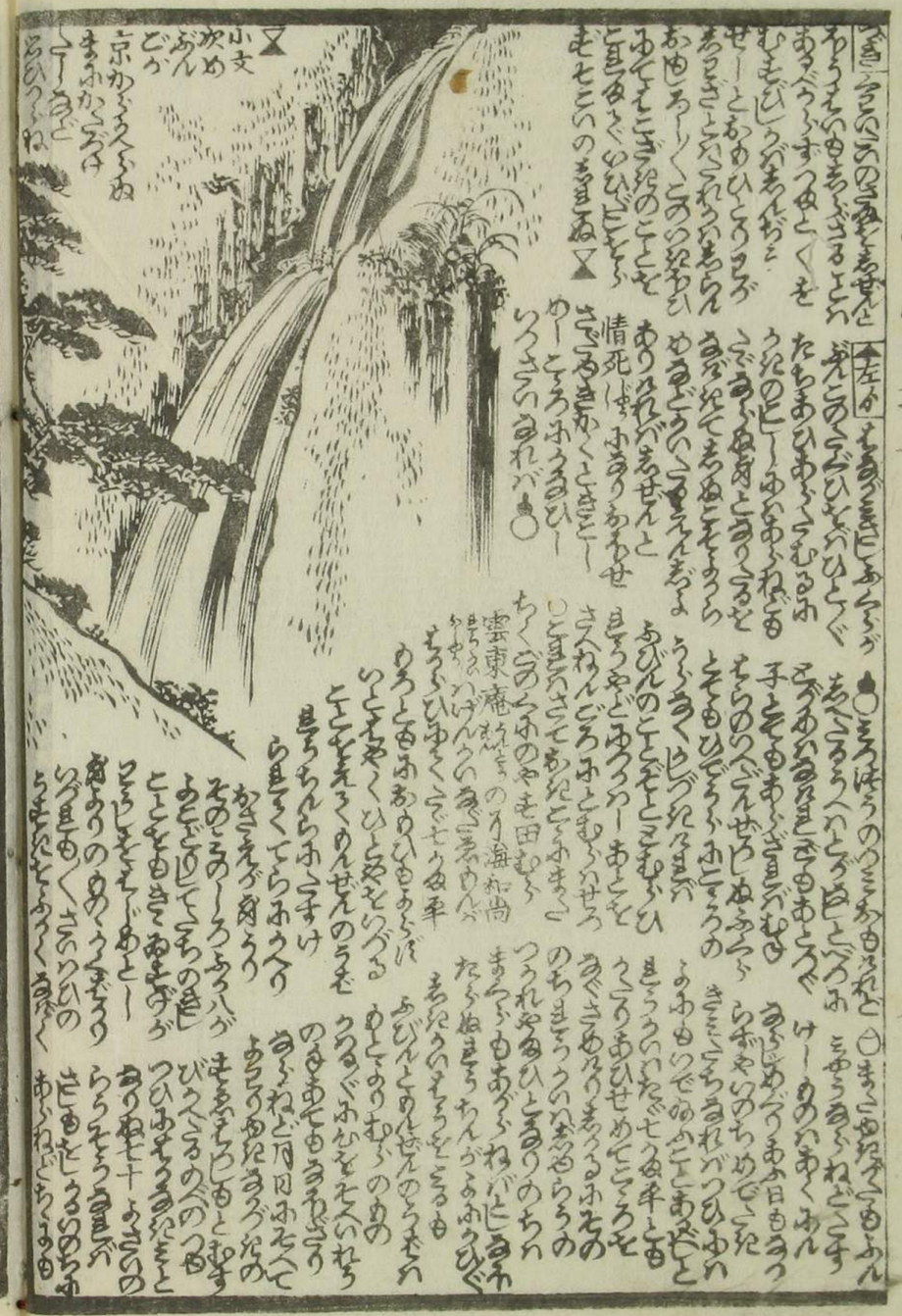
三十七編よりつづき
○此処ハ過日有ル
三十五編下の半ての西の漬


福

春

福
春

春
鳴戸ヶ渕



三笠山が
等子相撲
豊後國の
山中ゆく
賊金を
爭ひ
双傷の処

廣幸

種彦
脩輯

願主
岡本氏
五日目
四日目

三都ノ
稀者

文蛇川部屋

虚
欲

珍

稲荷町一丁目
寒
壷
珍
欲

三十七編
三亭主人

かぐら
六文來書
踊の師匠
九枝稲大
稲
種彦作
芳幾画

白縫二十八編

柳亭種彦作

一惠齋芳幾画

菊壽堂發兌

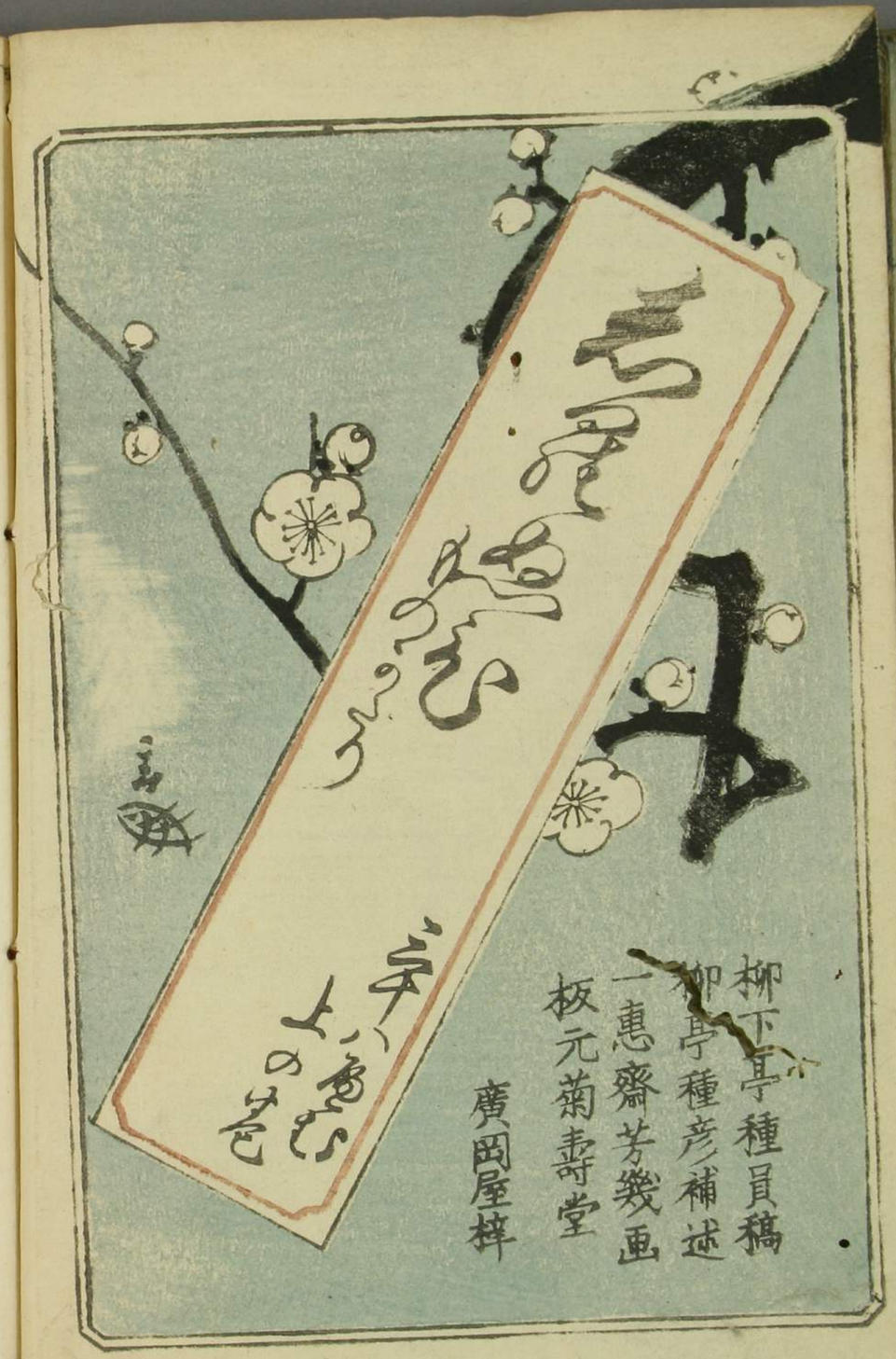
新板

皇龍脚

壹出シ

ちらぬひ

ぬい
もの
三十八編上
歌川豊国画


柳亭種員稿
柳亭種彦補述
一惠齋芳幾画
板元菊壽堂
廣岡屋梓

若菜姫変形
山處女蟬羽
柳亭種彦

一
鳥山秋作
照忠

桑柳軒

壁妾 英浦

仇村稲次
弟子女児
町子

つゞき　えゝはらうさ
いのびどゆうろいろ
どのいろひがろ。
まいまろくかう
いやはいてこゝのきの
はそもそのるでしひいけー
これどころち川つのハまあん
とふれちびちこのねん
ぎをもちてせれころふ
むどろるのられめんひ
どうしあひつりがあひで
ひつとまきういろのちふゆぶ
こふとこちのれろへつく
こあのあひゆうちんさんぐ
つろいときのふのなんとこちの
人のどころるまを色しそれのを
まらびきのふろいきろられこのぶ
ちとしあてらしさいだころこう
めをくくとあゆのつらふあこちこと
こんどてんのあるれんまつくられべ
こちひせをとろくこのをくのれろくどもあい

下へつゞく

柳亭種彦偏輯

一恵齋芳幾画

假名讀八犬士傳

自初編　至二十七編

この物がたりの去年火災ふかるうちこの燒亡し殘部く次編を出ぶ
ことなりまこばなるこの樣こと殘こと
文溪堂主人ふたゝび
燒失のち再版し
オイ氏物編こと求めたの
出板しこと
あの碧山亭
元治紀元甲子夏六月

三十八編下
菊秀画

柳亭種彦作
歌麿斎よしゝ義画

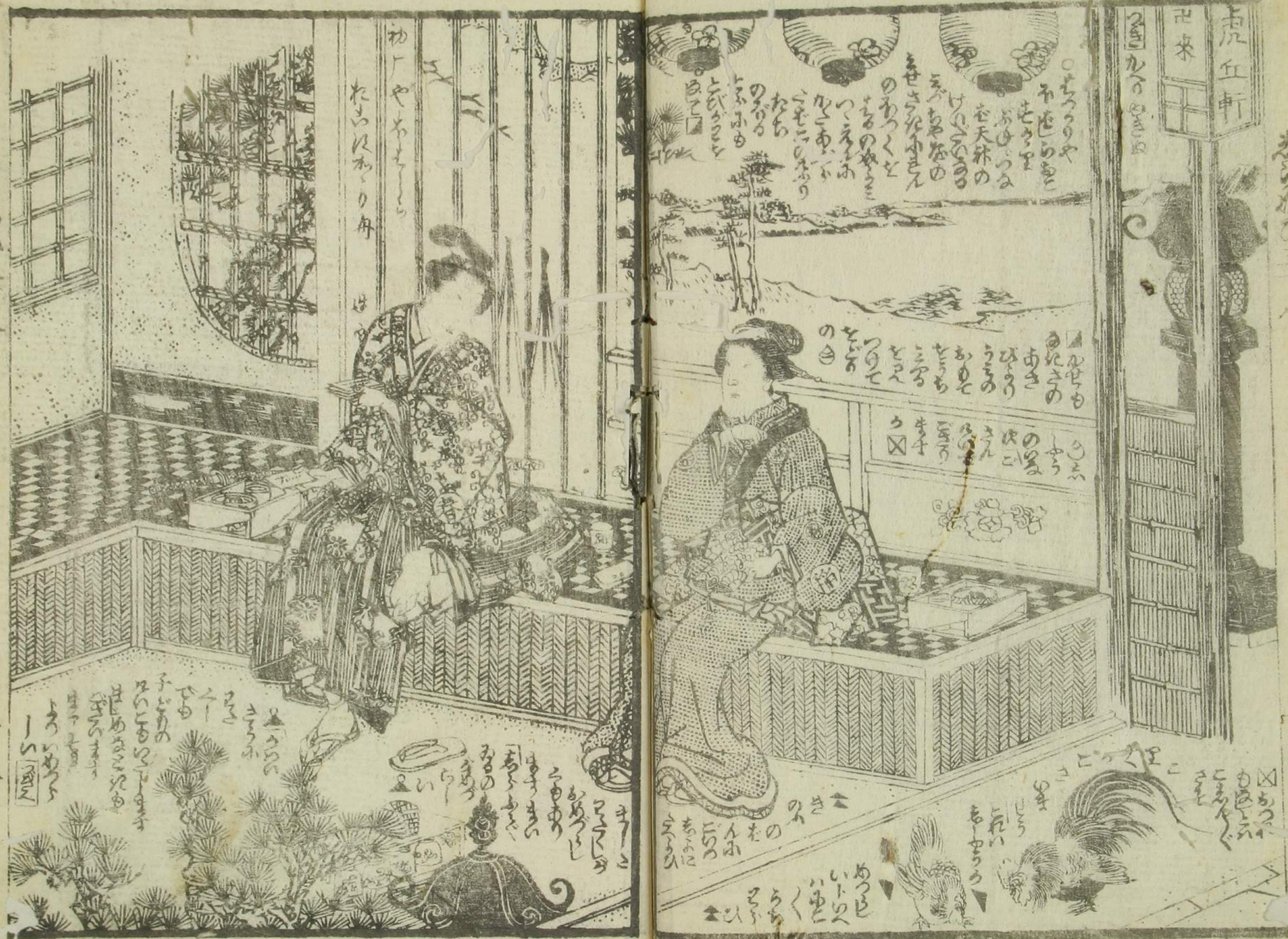
白ぬひ

三十八編 下

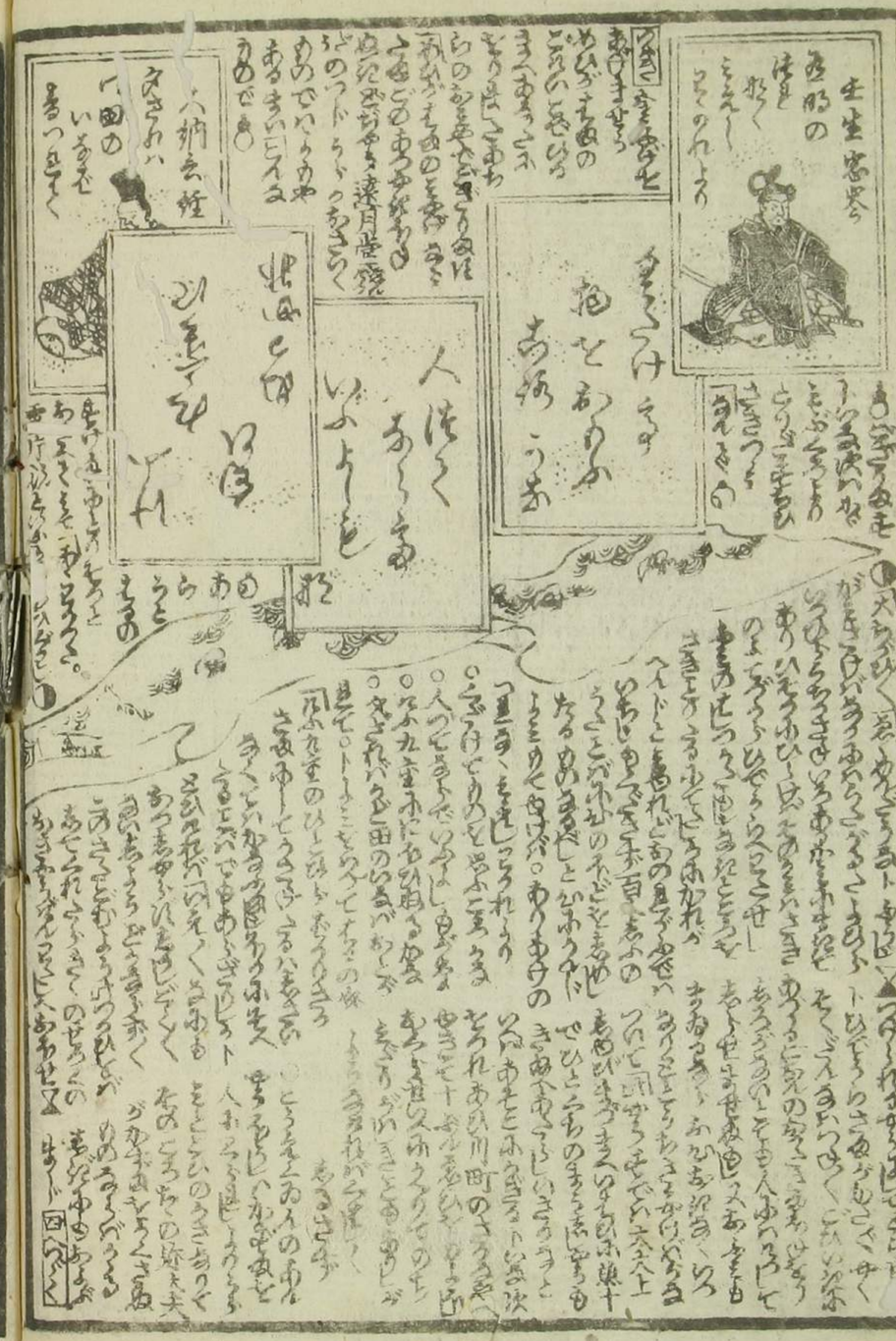
桑京彫鐫

上のつゞき　ちゝかいあいもあはせ
あみ　もとをとりひろげ　ひとよ
とのうてもうれもうのひとまの
そとをそのちかにてゐるさの
やくちくあさのをかみに
うつときのてゐこゑんとものの
きうくえんづゝちぎちやのとの
せきまりのあれやふうー　を
ねりしてあのて二且あふきう
それでうんまうまんうとあれば
せいがうとうとうあげたうの
ゞう且てくれやうまつうりとさ
ああせいあくてもうつといむと
うもくてあうと且をうあなく
ゆうふうもちけうをうけゞて
せいとうへの」をつけをあル上
まうト且のの」まりゐを
まゐもつゞまるれ小ゐうとうれ
ゞけいあ且且ゝとうあう
あきとうりのあうくとうし
うもゆつも必ゝとをうち川
もてゐ、ゝ、ゐのむとのあを
いゐむもいうゝのとをとうりふ
うゞあいそのうかヨんやちも
あゞゞ」とゞゐ」ゆとうう
ゐうとて せうゝく ゐゐいれゞ
さるのふあうせ。そむこゆ
うゞまくゐうとてゞ　（ゐ）

虎丘軒



三のつぎ　こうしゅんせうけあぶらうりとうとそかぶぬと人ゆうらんと世かれがきてうろ
ちうりとうくーのとまりうぐゆそまりまぐう
ちつのいるくてまりにつぬとうてんぬそ
ひとりるうぐてよくむぐんとのまそ
あくきまうぐいと　のくまうのと　ほそのの
ゆうこうハ　そのまいと　ゆうこうハ
ようてくよりうこんしてゆる
わどゆおまうるゆむ
てゆもつきてく
ゆいくゆのくらぬ
日さくはまはまびゆい
ぬときうりはまるとう
ぬまこのせうゆ
のびてあとうをいう
うんうういのうきまこ
ゆとうあてさしゆの
ぬ　ぬいうのまうれば
さうぐうちうてのう
ゆうゆんしゆゆ
ゆてうまはゆまり
さゆまりそうに
ゆまうぬ



草四郎
若葉姫

忠臣蔵

四十五編 柳亭種彦作
四十六編
四十七編 惠齋芳幾画

八犬傳

廿八編 假名垣魯文録
廿九編
三十編 朝霞樓芳幾画

柳春秋色櫻

山々亭人作
惠齋芳幾画

地本草紙問屋澤川佐賀町 廣岡屋幸助版

雜八編

上